



新着図書 ～阿波高校図書館に入った本を紹介します～

| | | |
|------|-------------------------|-------------------|
| 総記 | ネットはなぜいつも揉めているのか | 津田 正太郎 // 著 |
| 哲学 | 自分とか、ないから。 | しんめいP // 著 |
| | 認知バイアス | 鈴木 宏昭 // 著 |
| | わたしが「わたし」を助けに行こう | 橋本 翔太 // 著 |
| | 悪いことはなぜ楽しいのか | 戸谷 洋志 // 著 |
| 歴史 | 小学生でもわかる世界史 | びよびーよ速報 // 著 |
| 地理 | 中学生から知りたいパレスチナのこと | 岡 真理 // 著 |
| 社会科学 | ガザとは何か | 岡 真理 // 著 |
| | 暗闇のなかの希望 | レベッカ ソルニット // 著 |
| | 選択的夫婦別姓 | 寺原 真希子 // 著 |
| | 承認をひらく | 暉峻 淑子 // 著 |
| | 「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか? | 今井 むつみ // 著 |
| | ベーシックサービス | 井手 英策 // 著 |
| | トランスジェンダーになりたい少女たち | アビゲイル シュライアー // 著 |
| | なぜ難民を受け入れるのか | 橋本 直子 // 著 |
| | 体験格差 | 今井 悠介 // 著 |
| | 不適切保育はなぜ起こるのか | 普光院 亜紀 // 著 |
| 自然科学 | 医療現場の行動経済学 | 大竹 文雄 // 編著 |
| | 新しい免疫入門 | 審良 静男 // 著 |
| 産業 | 農業が温暖化を解決する! | 枝廣 淳子 // 著 |
| 芸術 | センスの哲学 | 千葉 雅也 // 著 |
| | ひらがなの世界 | 石川 九楊 // 著 |
| | イル・コミュニケーション | ダースレイダー // 著 |
| 進路 | 子ども学部 | 木村 由香里 // 著 |
| | トリマーになるには | 大岳 美帆 // 著 |
| マンガ | 呪術廻戦 27 | 芥見 下々 // 著 |
| | チエルノブイリの祈り 1 | スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ |
| | 健康で文化的な最低限度の生活(1～12) | 柏木 ハルコ // 著 |
| | ミステリと言う勿れ 14 | 田村 由美 // 著 |

| | | |
|-----|-----------------------------|--------------------|
| 読み物 | サンショウウオの四十九日 芥川賞受賞 | 朝比奈 秋 // 著 |
| | ツミデミック 直木賞受賞 | 一穂 ミチ // 著 |
| | 死んだ山田と教室 | 金子 玲介 // 著 |
| | 透明なルール | 佐藤 いつ子 // 著 |
| | あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。 Another | 汐見 夏衛 // 著 |
| | 告白撃 | 住野 よる // 著 |
| | フェイクドキュメンタリーQ | フェイクドキュメンタリーQ // 著 |
| | わたしの知る花 | 町田 そのこ // 著 |
| | バリ山行 芥川賞受賞 | 松永 K 三蔵 // 著 |
| | 難問の多い料理店 | 結城 真一郎 // 著 |
| | ソードアート・オンライン 28 | 川原 礫 // [著] |

○図書委員さんのオススメ!

「I AM ZLATAN ズラタン・イブラヒモビッチ自伝」

ズラタン イブラヒモビッチ // 著

この本はズラタン・イブラヒモビッチというサッカー選手の自伝で、幼少期から2011年までの彼の人生を細かくおもしろく書いたものです。彼が生まれてすぐ両親が離婚し、父親に育てられることとなりますが、酒やギャンブルばかりの父親でした。そんな環境の中でズラタンは物を盗んだり、人を暴力や暴言で痛めつけたりしてしまいます。彼は自分が周囲と違うと考えるようになります。そんな中で育まれたのがハングリー精神でした。この精神は彼の武器になり、世界最高のストライカーへとなる男の原動力となるのです。この本ではもちろんサッカーの話が多いのですが、ズラタンが歩んできた、ズラタン流の生き方、考え方の話もたくさんあり、新しい考え方を知ることができる点も魅力の一つです。この本を読めば必ずズラタン・イブラヒモビッチが好きになります。ぜひ読んでみてください。

「アルジャーノンに花束を」 ダニエル・キイス / 著

知的障がいのあるチャーリー・ゴードンは大学の先生と出会い、子ども時代からの夢であった頭を良くしてもらうための手術を受けることになった。同様の手術を受けたネズミのアルジャーノンとともにチャーリーも天才へと成長していく。頭が良くなったことで見えてきたこの世界の景色とは、美しいものであったのだろうか、それとも醜いものであったのだろうか。次第にチャーリーは周囲の人々との関わりから喜びや苦しみ、愛情などの感情を知っていく。彼の過去に隠された「賢くなりたい」という思いはいついっどこから来たものなのだろうか。ぜひ読んでみてください。